



## CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(10月23日時点)

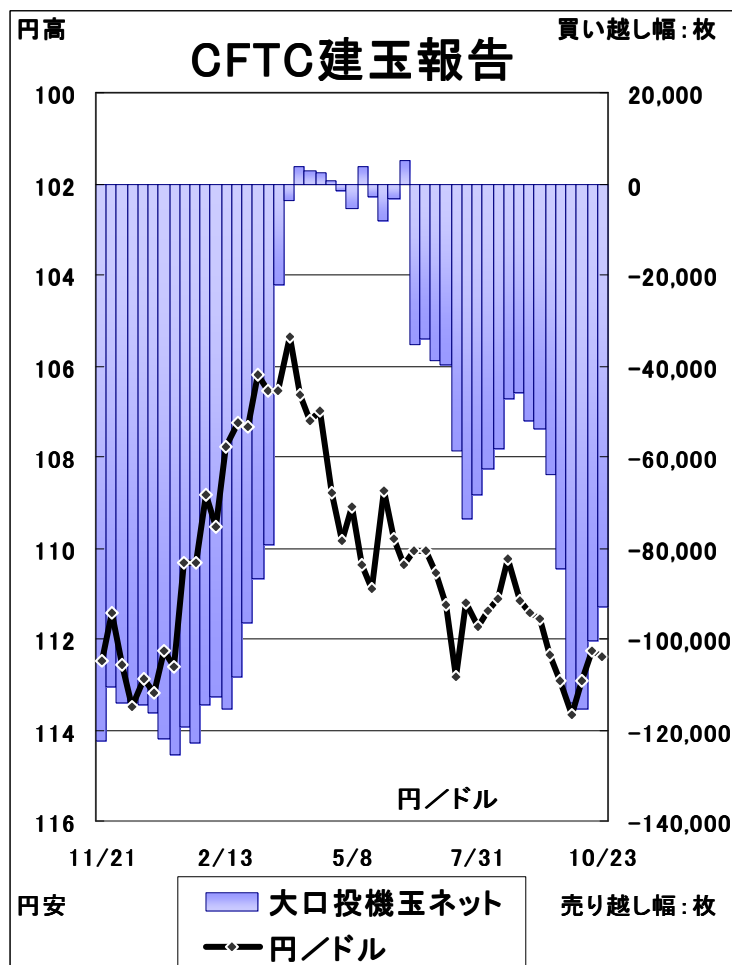
米商品先物取引委員会(CFTC)が10月26日に発表した建玉報告によると、23日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の売越幅は、9万2804枚となり、前週比7817枚縮小。投機筋は売り買い共にポジションを減らした。

期間中の円(対ドル)は軟調。17日に発表された9月の米連邦公開市場委員会(FOMC)の議事要旨で今年3回目の利上げが全会一致で支持され、FOMCメンバーの多くが一段の利上げに賛同していたことが判明したことで、米長期利回りが上伸。日米金利差を意識したドル買い円売りが進行した。ただ、米中「貿易戦争」の影響、サウジアラビア人記者殺害疑惑をきっかけとした地政学的リスクの高まり、イタリアの財政不安が煽ることや、米株安を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、安全資産とされる円の下値も堅く、週間ベースでの動きは限られた。

期間中のユーロ(対ドル)は下落。大口投機玉の売越幅は、3万0304枚となり、前週比960枚拡大。

英国の欧州連合(EU)離脱を巡る交渉が難航していることや、イタリアの財政問題を背景とした売りに圧迫された。EU欧州委員会は23日、イタリア政府が提出した2019年予算案にEUの財政規律への深刻な違反があるとして差し戻し、3週間以内に再提出するよう求めたが、これに対して伊政府は「支出拡大は必要」と見直しを拒否。EU当局とイタリア政府の対立懸念が強まったことがユーロへの売り圧力を強めた。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
06/26	110.07	-34,221	1.1646	33,904
07/03	110.57	-38,730	1.1658	36,747
07/10	111.26	-39,832	1.1747	24,357
07/17	112.85	-58,650	1.1662	21,407
07/24	111.19	-73,769	1.1682	29,640
07/31	111.75	-68,457	1.1696	22,825
08/07	111.37	-62,807	1.1598	10,565
08/14	111.14	-58,368	1.1343	-1,789
08/21	110.22	-47,406	1.1571	-4,841
08/28	111.17	-46,041	1.1694	-7,219
09/04	111.45	-51,932	1.1582	7,963
09/11	111.56	-53,886	1.1606	11,170
09/18	112.33	-63,755	1.1667	1,666
09/25	112.94	-84,719	1.1766	3,696
10/02	113.65	-114,046	1.1546	-7,101
10/09	112.94	-115,201	1.1493	-16,142
10/16	112.28	-100,621	1.1573	-29,344
10/23	112.39	-92,804	1.1469	-30,304
前週比	0.11	+7,817	-0.0104	-960



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。